

特集 ② 東日本大震災から 10 年 復興の歩みと防災対策

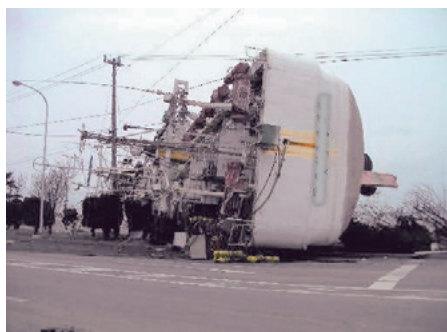
2011年3月11日の教訓を生かすため、大規模災害の恐ろしさを再確認し、改めて災害に対する心構えを持ちましょう。

【地震の概要】

正式名称	平成23年(2011)東北地方太平洋沖地震
発災日時	2011年3月11日14時46分
震源地	三陸沖(北緯38°06.2'、東経142°51.6') 深さ24km
規模	マグニチュード9.0
県内の最大震度	5強
	(八戸市、東北町、おいらせ町、東通村、五戸町、階上町)
津波の高さ	八戸市:4.2m以上(観測値)

【青森県の被害状況】(2012年11月30日現在)

人的被害	死者3名、行方不明者1名、負傷者95名
住家被害	全壊308棟、半壊701棟、一部破損1,005棟
被害額	約1,342億円
最大避難者数	24,132名(2011年3月12日)



漁港に乗り上げたイカ釣り漁船



津波で流された車

写真提供：(地独) 青森県産業技術センター食品総合研究所

1 「青森から元気を」復興に向けた取組

(1) 地域活性化、活力創出

災害に強い地域を目指して、防災施設のほか、防災にも配慮された公園や運動場が整備されました。

① 蕪島周辺地区の整備

被災した蕪島周辺の復興を目的に、三陸復興公園の北の窓口としてふさわしい空間の創出を行っています。蕪島周辺では営巣するウミネコの生態を観察できる蕪島休憩所が2015年にオープン。また蕪島から八戸市水産科学館マリメントまでの連続性を重視した蕪島プロムナード公園が整備されました。



蕪島プロムナード公園



蕪島休憩所

写真提供：(一財) VISIT はちのへ

② 八戸市津波防災センター

大津波警報発表時に避難が間に合わない場合の緊急的・一時的な避難施設、地震や大雨など大津波以外の災害時の避難所、平常時の防災活動の場として、2017年に八戸市沼館地区に整備されました。



③ 明神山防災タワー (おいらせ町)

大津波警報発表時に浸水区域外の大津波避難場所までの避難が困難な方々のための緊急避難施設として、2017年においらせ町松原地区に整備されました。



④ 八戸市多賀多目的運動場

津波による住家被害が八戸市で最も大きかった多賀地区の活力創出のための多目的施設です。天然芝球技場は、地元サッカーチーム「ヴァンラーレ八戸FC」のホームスタジアムとしても利用されています。

管理棟は最大クラスの津波から逃げ遅れた避難者のための一時避難施設にもなっています。



(2) 東北をひとつに

青森県から福島県まで続くみちのく潮風トレイルや三陸沿岸道路「復興道路」は、東北をひとつにつなぐ未来の礎（いしずえ）となります。

① 三陸復興国立公園

復興を目的の1つとした国内では前例のない国立公園で、2013年に指定されました。防災教育でも活用されています。

青森県では、八戸市の蕪島・種差海岸と階上町の階上岳・階上海岸などが指定されています。



② 三陸ジオパーク

八戸市から宮城県気仙沼市まで南北約220km、海岸線は約300kmに及ぶ三陸ジオパークが、2013年に日本ジオパークとして認定されました。青森県では蕪島、種差海岸、是川遺跡、階上岳などが見どころとしてジオサイトに登録されています。

③ みちのく潮風トレイル

八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までの太平洋沿岸をつなぐロングトレイルで、日本一美しい断崖やリアス式海岸ならではの風景など、自然が織りなす圧倒的な美しさを体感できます。



④ 三陸沿岸道路「復興道路」の整備

沿岸地域の一日も早い復興を支援するとともに、八戸・階上地域と三陸沿岸地域の交流を促進するため、「復興道路」が整備されました。災害時の支援等ネットワーク機能の向上、医療サービスの向上、安定したエネルギー供給などが期待できます。



2 自分と家族の命を守る行動を！災害から身を守るには？

青森県で起こった過去の災害を教訓に、突然地震や津波などの災害に遭った際の正しい行動を確認しましょう。

(1) 青森県における過去の主な地震・津波

青森県は過去に何度も地震や津波の被害を受けています。死者を伴う地震も多く発生しているため、地震や津波に遭遇した場合の正しい非難行動について今一度確認しましょう。

表1 青森県における過去の主な地震災害・津波による災害

災害名（発生年月日）	災害規模	人的被害	被害額
チリ地震津波 (1960年5月24日)	マグニチュード 8.5	死者、行方不明者 3名	約27億円
十勝沖地震 (1968年5月16日)	マグニチュード 7.9 県内最大震度 5	死者 46名 行方不明者 2名 負傷者 671名	約470億円
日本海中部地震 (1983年5月26日)	マグニチュード 7.7 県内最大震度 5	死者 17名 負傷者 25名	約518億円
三陸はるか沖地震 (1994年12月28日)	マグニチュード 7.5 県内最大震度 6	死者 3名 負傷者 783名	約755億円
東北地方太平洋沖地震 【東日本大震災】 (2011年3月11日)	マグニチュード 9.0 県内最大震度 5強	死者 3名 行方不明者 1名 負傷者 95名	約1,342億円

①地震から身を守るには



頭を守る



机やテーブルの下へ入る



安全な場所に避難！

②津波から身を守るためには

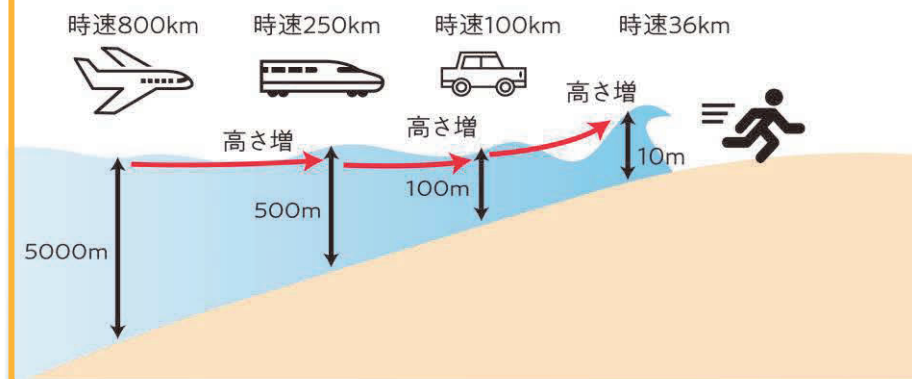
海辺や川岸から
とにかく離れるより高く
より遠いところへ高い建物を見つけたら
より高い階へ

○津波に注意！

～地震が来たら津波注意報・警報を待たずにすぐ逃げよう！～

津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。急いで「より高く、遠いところ」を目指して、原則、徒歩で避難をしてください。

また、日頃からご自宅や職場近くの「津波の指定緊急避難場所」を確認し、いざという時の行動を家族で話し合っておきましょう。



(2) 青森県における過去の主な風水害

近年、大雨や洪水など局地的な災害が増加し、激しさを増しています。梅雨や台風の時期以外でも大雨や洪水が発生しており、小さい川でも洪水や浸水被害が起きるおそれがあります。

自分の住んでいる地域でどのような災害が起きる可能性があるか、日頃からハザードマップなどで確認しましょう。

表2 青森県における過去の主な風水による被害

災害名（発生日月）	人的被害	被害額	特徴
大雨による災害 (1975年8月5日～7日)	死者 22名 負傷者 46名	約121億円	大雨による弘前市（旧岩木町）百沢地区の土砂災害等の被害
大雨による災害 (1977年8月5日)	死者 11名 負傷者 30名	約518億円	津軽地方を中心に大雨による洪水、土砂災害等の被害
台風第19号 (1991年9月28日)	死者 9名 負傷者 255名	約1,129億円	津軽地方を中心に急激に風が強まり、人的被害をはじめ、りんごの落果等の甚大な被害
台風18号 (2013年9月16日)	負傷者 1名	約115億円	大雨による岩木川や馬淵川等の川の氾濫等の被害

3 青森県防災ハンドブック「あおりおまもり手帳」



今、災害が起こったら誰が家族を守りますか？

もしも・・・あのととき・・・こうしておけば・・・こんなことにはならなかった・・・。起こってから後悔しないように日頃からの準備が必要です。

災害に対する準備や心構えには、各ご家庭に配布している青森県防災ハンドブック「あおりおまもり手帳」が役立ちます。災害が起きた時にどうやって自分の命を守るのか、今からどうやって災害に備えたらよいかなど分かりやすくまとめられていますので、ご家庭の目につく場所に保管し、定期的に内容を再確認することが大切です。

自分や大切な人の命を守る「おまもり」として、内容をよく読み、防災に関する知識を身につけましょう。



「あおりおまもり手帳」は青森県庁ウェブサイトからダウンロードできます。

